

◆関連質問

- ・入江大橋渋滞緩和策の取り組みについて (水曜会)
- ・洗谷の渋滞緩和対策(緑風会)
- ・入江大橋渋滞緩和策(公明党)

小中学校校舎の耐震診断等の状況 (市民連合)

問 学校等公共施設は、その多くが緊急時の避難場所に指定されている。市内の小中学校の校舎、屋内運動場の耐震診断の進捗状況と、耐震補強の現状、今後の改修計画は。

答 耐震診断は、国が示した年次計画期間である2006年3月末までの完了をめざし取り組んでいる。本年3月末までの進捗は、校舎67%、屋内運動場79%を見込んでいる。

補強工事の計画は、全施設の耐震診断が終了後、工法などさまざまな角度から検討し、財政状況等も勘案する中で策定する。

公共施設への木材使用 (水曜会)

問 ①木材の使用による効果、効果が教育の現場で高く論じられ



多くの木材を使用した屋内運動場(加茂中学校)

ているが、木材は市内の小中学校や公共施設にどのような形で使用されているか。

答 ②今後、内装を中心とした木質化の推進についての考えは。

答 ①市内の学校施設では、小学校のランチルームの床や腰壁、中学校の生徒相談室の床、幼稚園の床、小中学校屋内運動場の床、内壁、柱と梁などに使用している。②今後の整備においても、木の持つ特性を十分生かした快適で過ごしやすい教育環境整備に努めていきたい。

地すべり対策 (水曜会)

問 藤江町中組地区の地すべりについて、現状をどのように把握

しているか。また、40年間の危険と隣り合わせの生活に思いを寄せ、多くの市民の不安解消に有効な対策および今後の見通しを。

答 現状については、一部石積みのはらみだし、ずれ、道路のひび割れなどの状況を確認している。早急に対策の必要なものとして、水路の老朽化による水漏れ、道路路面のひび割れの修繕があるが、これらは、土木常設員や地元関係者と協議しながら取り組んでいく。

地すべり対策工事は、地域住民の安心・安全の住環境の整備から、地元の意見や要望を聞きながら、事業主体である県に対し、調査の早急なとりまとめと対策について要望していく。

◆関連質問

- ・市民生活の安全・安心の確保に向けた基本姿勢(市民連合)

※自動体外式除細動器(AED)による救命心急手当(公明党)

問 心疾患による死亡は年々増加傾向にある。救命率向上のため、操作が簡単で安全性の高いAEDの使用が、一般の人でも可能になった。公共施設、学校などにも

整備が必要であると思うがどうか。

答 心疾患で亡くなっている状況は、本市では2003年が474人で増加の傾向にある。機器の整備については、関係機関と連携を図りながら研究していく。現在、高規格救急車にAEDを装備し、新年度は、他の救急車にも装備するとともに、市民への講習用機器の整備を計画している。



高規格救急車に装備されている自動体外式除細動器

教科書選定 (緑風会)

問 歴史や公民の教科書の14年度の採択に当たって、記述内容に関しさまざまな議論や、教育委員会に対する要望活動があったが、教育委員会の権限と責任において

※自動体外式除細動器(AED)：突然の心停止に際して、電気ショックを与えて心臓を再び動かすための機器。